



石見幼稚園 地域だより



令和5年2月20日号
浜田市立石見幼稚園

豆まきをしました（3日）

今年は節分に豆まきをすることができました。昨年は豆まきができなかったため、幼稚園での豆まきは初めてという子ども達。1月の終わりから、鬼面作りをしたり、豆入れの三方などを折り紙で折ったりして準備をしてきました。当日は朝から、保育室は豆を炒る良いにおいに包まれていました。節分に豆をまいて無病息災を願う伝統的な行事を子ども達にもわかりやすく大型絵本を使って説明し、いよいよ豆まきの始まりです。福の神に扮した園長から福豆を貰い、園庭に向かって豆まきをしました。

どこからか太鼓の音が鳴り響き、赤鬼と青鬼が表れると、子ども達は必死の形相で豆まきに力が入りました。鬼にさらわれるのではと涙する人もいましたが、無事に鬼は退散。きっと、子ども達の心の中の弱い鬼たち（寝坊助鬼や食べるのがゆっくり過ぎる鬼、夜更かし鬼…をやっつけたいと言っていました。）も退散したのではないのでしょうか。そして、世の中の様々な禍も逃げて行ってくれることを祈ります。



「いらっしゃい！」「ありがとうございました！」〈参観日お店屋さんごっこ〉（10日）

2月の参観日は子ども達の嬉しそうな顔が並ぶお店屋さんごっこでした。当日までの準備期間は約1週間。どんなお店ができるのだろうと思っていましたが、一人一人、その子らしさ溢れるお店が開店しました。残念ながら、当日欠席した園児も後日、限定販売でパン屋さんを開くことができました。



どの店も、完売したことがとても嬉しかった様子でした。お客さんに「これがおすすめです。」「待ってください。袋に入れますね。」と、とても上手に対応している姿が見られ、自信満々の様子がうかがえました。



13日は、お店屋さんを頑張った子ども達のために、担任達がお店コーナーを開き楽しんでもらいました。手作りの楽器おもちゃ屋、折り紙セット屋、ガラポンコーナー、写真館（バルーンアートのスタジオ）をグループでめぐり、最後に宝探しに挑戦し

職員室のお菓子屋さんでお菓子袋を貰いました。
石見幼稚園の良い思い出がまた一つ増えました。

自然体験活動「いちご狩りに行こう！」（16日）

今年度最後の自然体験活動、金城のきんた農園ベリーネまでいちご狩り体験に行きました。バスで国道186号を登り始めると沿道に残雪がチラホラ見えはじめ、現地に到着するころには一面の雪景色でした。

到着後、ベリーネの方から「いちごハウスの中での約束」や「収穫の仕方」を教えてもらい、いちごハウスへ。ハウスの中はカメラのレンズが温度差で曇るほど暖かく、ハウスの外とは別世界、春の陽気でした。

ハウスの中にはいちごが数種類あり、色々ないちごを味わいながら「僕はあきひめが好き！」「私は紅ほっぺ！」といちごの名前も覚えめました。40分間の体験時間いっぱい、いちごをほおぼる人がほとんどでした。「3人で100個くらい食べたよ！」というチームもあり、鼻の頭にまでいちごの汁をつけて満足そうな笑顔でした。

年中児は昼食の後、いちご狩り体験の絵を描いていました。一緒に回った人の服の色は何色だったか担任に尋ねて色塗りをしたり、たくさん並んだいちごを描くことに夢中になったりしていました。



石見幼稚園の歴史その⑨

～飼育してきた生き物の今・昔～

現在石見幼稚園で飼っている生き物は「メダカ・ザリガニ・亀・金魚・フナ」です。毎朝の餌やりは年少組が行っています。

昭和から平成にかけては飼育小屋でうさぎやアヒル、チャボ、セキセイインコ、ジュウシマツなどを飼っていたそうです。当番の園児が餌を用意したり、小屋の掃除をしたりしていました。チャボが逃げ出し、中学校の校庭まで追いかけたり、アヒルは卵を産むこともあったとか。

ウサギを抱っこすることでさっきまで泣いていた園児が笑顔になることもあったそうです。時代と共に飼育できる生き物も移り変わってきました。ここ最近では、オタマジャクシやイモリ、ツバクロヒョウモン、ドジョウなども飼われていました。



ウサギにエサをあげているところです。

園の植物等の紹介・・・ 冬に植えた苗が可愛い花を咲かせ始めました。ピオラ、ヒナギク、サクラソウは可憐に咲いています。子ども達が球根を植えたチューリップ、アネモネも元気な芽を伸ばし始めています。ブロッコリーも大きく育ち、子ども達が収穫しました。

